

11月議会が閉会  
(12月8日)

44議案のうち10議案に反対…日本共産党  
日本共産党が提案した意見書2件は否決

廣澤副市長の後任に松雄局長

11月定例会が12月8日に閉会しました。

11月30日に人件費削減の関係議案と補正予算7件が議決され、12月8日には新たに補正予算や人権擁護委員の推薦など5議案が追加され、採決にあたり、日本共産党は37議案のうち市立病院を市大附属病院にする条例案2件と副市長選任に松雄観光局長を選任する案に反対、34議案に賛成しました。副市長選任は無記名投票で行われ、67票中賛成51、反対8、無効8でした。

子育て世帯への10万円給付など  
追加補正予算などを可決

国の補正予算に伴い追加提出された補正予算は10万円の子育て世帯臨時特別給付事業や住民税非課税世帯等臨時特別給付金など594億円でした。委員会審査で市長や他党派がクーポンでの支給を容認する中で、日本

共産党は現金とクーポンに分けず全額現金で早急に支給するよう求めました。

意見書3件可決、

意見書案は各党派から6件が提案され、各党派で意見調整を行い、議会運営委員会で3件の意見書を議決することになりました。日本共産党提案の2件は、否決されました。

請願5件を受理

11月議会に受理された請願は5件、陳情は7件でした。日本共産党は5請願全ての紹介議員となりました。2月議会が始まる前の委員会で審査が行われます。

2021年11月議会における意見書案に対する各党派の態度  
(議会運営委員会)

意見書案	結果	各党派の意向				
		共	自	民	減	公
脱炭素社会の実現に向けた再生可能エネルギーの強力な推進を求める意見書	可決	○	◎	○	○	○
寡婦控除制度の在り方について検討を求める意見書	可決	○	○	◎	○	○
育児休業給付制度の見直しに関する意見書	否決	●	●	○	◎	●
ヤングケアラーへの支援の充実に関する意見書	可決	○	○	○	○	◎
子どもの歯科矯正に保険適用の拡充を求める意見書	否決	◎	●	●	○	●
後期高齢者医療制度における窓口負担割合に関する意見書	否決	◎	●	●	●	●

議運での態度 ◎=提出 ○=賛成 ●=反対  
党派 共：日本共産党 自：自民党 民：名古屋民主  
減：減税日本ナゴヤ 公：公明党

2021年11月議会の主な議案と態度 (○=賛成 ●=反対)

議案名	共	自	民	減	公
子育て支援10万円給付やワクチン3回目接種、商品券事業などの一般会計補正予算 4件	○	○	○	○	○
商品券事業財源は「行革」で、等の付帯決議	●	○	○	●	○
非正規雇用を含む職員の給料減額の関連7議案	●	○	○	○	○
緑市民病院と厚生院(病院)を名市大附属病院にする条例 2議案	●	○	○	○	○
市税条例の改正や契約など 9議案	○	○	○	○	○
指定管理の再指定や期間延長など 19議案	○	○	○	○	○
監査委員などの人事案 2議案	○	○	○	○	○
副市長の選任(民間登用の廣澤副市長の後任に松雄観光局長)	無記名投票。反対8、無効8、賛成51				

共：日本共産党 自：自民党 民：名古屋民主 減：減税日本ナゴヤ 公：公明党

名古屋市の新型コロナウイルス感染症への対応予算の2021年11月議会までの累計額(単位：千円)

区分	予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
2019年度	一般会計 559,174	554,174	5,000	—	—
2020年度	一般会計 307,613,001	285,401,320	8,573,916	4,718,225	8,919,540
	国保会計 2,160	—	2,160	—	—
	病院会計 67,000	—	67,000	—	—
	市バス会計 2,251,137	—	—	—	2,251,137
	地下鉄会計 6,160	—	—	—	6,160
	総計 309,939,458	285,401,320	8,643,076	4,718,225	11,176,837
2021年度	一般会計 119,108,708	92,237,767	2,303,186	12,471,193	12,096,562
	市バス会計 131,936	—	—	—	131,936
	地下鉄会計 84,639	—	—	—	84,639
	総計 119,325,283	92,237,767	2,303,186	12,471,193	12,313,137
累計額	429,823,915	378,193,261	10,951,262	17,189,418	23,489,974

請願紹介件数

